

9月1日

6時30分



礼拝・聞法・正信の生活

光といのち

第90号

—秋彼岸—

2014年9月10日発行

発行所

真宗大谷派勝善寺

〒299-2214

千葉県南房総市二部1344

電話 0470-57-2657

FAX 0470-57-2290

Eメール lino-teyy@khaki.plala.or.jp

住職 釋孝昌

法語

一日のたしなみには
あさつとめにかかさ
じと、たしなめ。
道宗

題字下の法語は、蓮如上人の
ご門弟 赤尾の道宗」の言葉で
す。

道宗は、お念仏の信心をいた
だき喜んで生きた人でした。越
中（富山県）五箇山赤尾谷の人
なので、人々は、赤尾の道宗」
と呼び、その生き様を後世に伝
えてきました。

道宗は、日々の心がけは、朝
のお勤めを欠かさないこと。そ
う心がけなさい」と、言ってい
るのです。

ところで、私たち真宗門徒の
あさつとめ」は、蓮如上人の
頃から「正信偈」をお勤めして
きました。ですから毎朝「正信
偈」のお勤めをされている方も
いらっしやると思います。

あるいはお勤めはしなくても、
朝食の前や外出する前に、お仏
壇に掌を合わせる方もいらっし
やるでしょう。大事なことです。

はたまた、そんな習慣は無い
とか、朝の忙しい時間にそんな
ことはしてられないという方も
いらっしやることでしょう。
子どもの頃に私は祖父や父と
毎朝本堂でお勤めをさせられて
いました。しかし物心がつくくと、
意味がわからぬ」と反抗し
止めてしまいました。子どもが
得度（僧籍をとる）した頃、よ
うやく再開しましたが・・・。

二年ほど前のことです。ある
ご門徒夫妻が、「正信偈」のお勤
めを習いたいと申し出てこれら
れているから、ご一緒しませんか」
と勧めると、「二週間に一度ぐら
いなら」ということで、月曜朝
のご門徒さんと一緒のお朝事が
始まりました。

今は、私を含めて10人に増え、
習慣化しました。当寺の行事に
なったとも言えます。

「二日のたしなみには、あさ
つとめにかかさじと、たしなめ」
に続いて道宗は、「二月のたしな
みには、ちかきところ、御開山
様の御座候うところへまいるべ
しと、たしなむべし。一年のた
しなみには、御本寺へまいるべ
しと、たしなむべし」と言っ
ています。

ちかきところ、御開山 親
鸞聖人）御座候ところ」は、み



響流十方

な様の場合には当寺です。御本
山」はもちろん京都の真宗本廟
（東本願寺）です。

写真は、生い茂った樹木をこ
の夏に伐採してもらい、さっぱ
りとした鐘楼です。

梵鐘は、お勤めが始まります。
お集まりください」という合図
に撞（つ）きます。

当寺の鐘楼が本堂からかなり
離れた場所、仏谷（ほとけがや）
から出た高台に建てられたのは、
大勢のご門徒に梵鐘の響きが聞
こえるためです。

あさつとめ」の前に梵鐘を
撞き、参集した大勢のご門徒と
「正信偈」のお勤めをしたい。
それは、私の夢でした。しかし、
熱心なご門徒方により、寺は着
実に変わってきました。

秋彼岸会のご案内

九月二十三日

（火）

秋分の日

十時～十一時半

8月10日(日)の盂蘭盆会兼前住職新盆は、台風11号の接近を心配しながらのお勤めでした。左記は、横須賀市長願寺住職海法龍先生の御法話の一部を聞き書きしたものです。先生のお話しを聴聞すると、自分では気づかない私の「心根」をいつも知らされます。それは、決して人に自慢げに語れる心ではありません。しかし、聞法でそれを知らされると、不思議と地に足が着いたような安心感を得られるのです。南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏 . . .

死」は、何のためにあるのか。残された私たちのためにあるということ。そこから教えられていく。「死」を意識することで自分の人生を顧みることになるということでしょう。

葬儀もお通夜もご法事も、死んだ人のためかもしれないけれど、それ以上に残された私たちのためにある。そう言ってもいいと思うのです。

私たちは、すぐ忘れます。昨日食べた夕飯も忘れるぐらいです。本当に！。笑い)

69年前の戦争のことも忘れてはいないのでありませ

仏教の教えも風化しない。人間としての大切なことが風化しない。そういうことを願って、この新盆法要も営まれているわけです。真宗のお寺、お寺というものは、実にそのためにあるわけです。

「昨年暮れに兄が64歳で亡くなった時、ああ、64歳なんだなあ！64年間生きてきたんだなあ！」と思いましたが。一人の人が「生まれてきたという重さ」をそこに感じました。一月に亡くなった勝善寺様の前住職も90歳を超える年齢でした。でも長い短いではないですね。その人その人の賜った寿命です。その与えられた「いのち」を生ききる、全うする。そうやって人はいのちを終えていくわけです。私たちは、生まれて生きて、いのちを終えていく。誰でもいのちを完全燃焼させて死んでいくということ。良い人生だとか不幸な人生だとかは私たちの勝手な思いにすぎません。誰でもいのちを賜って老病死することは、完全燃焼すること。一人の人間が生まれてきたということの重さを、そこに感じる。軽い人間は一人もいないのです。みんな等しく重い存在です。だから人間は軽く扱われてはならないし、相手を軽く扱ってもならない。軽く扱わないということは、いのちを傷つけないということ。逆に、軽く扱うということは、相手を「いのち」と見ない、

んか。昨日は8月9日でした。長崎のこと、8月6日の広島のこと。そのことを忘れていないから集団的自衛権が閣議決定されたのではないのでしょうか。69年前のあの戦争で、多くの方が死に多くの方が悲しみの中で生きたわけですよ。だから日本人だけではなく、世界、人類が、お互いの都合、経済的都合、国の都合で殺し合うようなことは絶対に起こしてはならないわけです。そういう叫びから私たちの憲法は生まれたわけですよ。それが忘れられていくということは、悲しいことです。

でも人間というのは、忘れる存在なのです。だから忘れないためにお墓がある。お内仏 お仏壇)がある。お寺のお荘厳がある。

それがないと私たちは歴史を忘れる。仏教の教えも忘れてしまう。だから私たちには「形」が必要なのです。原爆ドームがなぜ大切か。無くなると原爆の悲惨さが風化するからです。大事なことです。

私たちは形が無ければ忘れてしまうのです。新盆初盆)という形、それで故人のことを偲ぶのです。故人を思い起こすことは、自分の人生を思うことでもあります。どう生きていくのかということ、さらにそのことを通して仏教の教えに触れさせてもらう。そうすることで亡くなった方々のことも風化しない。

相手を排除していくということ。す。

しかし実は、そういう心根が私たちにはあるのです。利害です。私に都合のいい物はよし、悪い物はダメだという。人間についても、自分を利してくれる人は尊び重んじ、そうでない人は軽んじ排除する。そしてそういう人は死んでも仕方がない、戦争で死んでも仕方がないと思ってしまう。民間人が死んでも仕方がないと思ってしまう。そういう心根が私たちにはあるのです。イスラエルやパレスチナのガザ地区の悲惨さ、ウクライナではマレーシアの民間航空機が撃墜されましたね。戦争が起きれば、そういう状況になる。武器を取れば、そういうことになる。そういう状況を作り出す「心根」が私たちにはあるのです。

積極的平和主義とか言っていますけど、そんなきれいな事ではない。武器を取ればそういう状況は起こるのです。経済ももちろん大事です。しかし、一人ひとりが生きていくことはもっと大事なことです。それを私たちは見失ってしまった。私たちはなんでも経済優先になってしまった。

大間が人間でなくなっている」。そんな警鐘が、仏教のお言葉から聞こえてきます。仏教のお言葉に、私たちの「心根」が知らされるのです。



8月10日(日) 盃 蘭盆会 兼 前任職新盆

十一月十五日の
報恩講に向けて

報恩講は、私たち真宗門徒の最も大切な法要です。ご門徒が主催し運営する行事です。どうぞ宜しくお願いします。

一、当番地区
鋸南町

二、準備

- 役員会 10月12日(土)
- ※開始時刻は、13時です
- 世話人総会 10月19日(日)
- 仏具お磨き 11月10日(月)
- 前日準備 11月14日(金)
- ※開始時刻は、13時30分です。

三、法要

- 速夜法要 11月14日(金) 準備終了後
- 晨朝法要 11月15日(土) 6時30分～10時30分

・日中法要
開法会のご案内

参加を希望の方は、秋彼岸中にお申し出ください。

勝善寺同朋の会

法事などでいつもお勤めする「正信偈」のお話を任職がします。

実施日と時間

※10月11日(土) 14時～16時

| | |
|-----------|---------|
| 12月14日(日) | 14時～16時 |
| 2月8日(日) | 14時～16時 |
| 4月5日(日) | 14時～16時 |
| 5月10日(日) | 14時～16時 |
| 6月14日(日) | 14時～16時 |
| 7月19日(日) | 14時～16時 |

花まつり

参加費 500円

千葉組親鸞教室

本年度は、千葉組22ヶ寺を北部(Aブロック)と南部(Bブロック)に分け、二会場で開催する予定です。勝善寺は、南部(Bブロック)です。

座談会を充実させ、より近くの会場で開催し、みな様が参加しやすくするためです。

引き続き「正信偈」に尋ねる」というテーマで、海法龍先生がお話しくださいます。

まだ計画中で実施日・会場が決まっていませんが、第1回目は合同で左記により開催します。

実施日 10月16日(水)
会場 市川市即随寺
時間 13時～16時
参加費 1000円

会場まで任職の運転で送迎します。

千葉組婦人研修会

女性を対象にした開法会です。

岐阜県高山市不遠寺任職の四衛亮 まつつじ あきら)先生と親

鸞聖人の歩みに学んでいきます。

| | |
|-----|-----------|
| 第1回 | 12月12日(金) |
| 第2回 | 6月12日(金) |

会場 市川市即随寺
時間 13時30分～16時
参加費 500円

会場まで坊守の運転で送迎します。

その他の開法会

「インガ」や「同朋新聞」にも様々な開法会が紹介されています。

各自でご参加ください。ご希望があれば、私がお伴します。

定例法要

| | |
|-------------|---------------|
| 修正会 | 2015年1月2日(金) |
| 春彼岸会 | 2015年3月21日(土) |
| 盃蘭盆会 | 2015年8月10日(月) |
| 秋彼岸会 | 2015年9月23日(水) |
| ※10時～11時30分 | |

毎週行事

月曜朝のお勤め 6時半～
「正信偈」などの同朋唱和
御文」拜読 三分間法話



みごとに蓮が咲きました。増田征夫(釋征道)さんに頂きました。